環境省

新宿御苑のみどころ 晩秋

新宿御苑は、徳川家康の家臣・内藤氏の江戸屋敷の一部がそのルーツといわれています。明治に入り、農事試験場を経て、明治39年（1906）に皇室の庭園となり、戦後昭和24年（1949）に国民公園として一般に公開されました。
園内には、風景式庭園、整形式庭園、日本庭園と異なる3つの庭園が巧みにデザインされ、明治を代表する近代西洋庭園といわれています。